

地 活 協 レ ポ ー ト

令和 6 年 12 月

No.45

東 淀 川 区 役 所
地 域 課 (地 域)

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■菅原まつり（11月10日）

菅原地域で「菅原まつり」が開催されました。開催時間が午前11時から午後1時30分まででしたが、12時30分には飲食ブースが完売してしまうほど盛況でした。

菅原まつりで目に留まったのは、ホワイトボードに貼られた模造紙です。「菅原まつりは『たのしかった』ですか」「たのしかったんですか」「たくさんの人と『ふれあい』ができましたか」という設問に「ふれあい」が

「楽しかった」

た、「ふれあい」ができた」という人が丸型カラーシールを貼る形式になっています。シールを貼ることでアンケートに回答したことになる「



仕掛け」にすることで子どもたちも参加できるようになっています。

このようにアンケートに答えやすくする工夫は、令和5年度、6年度と開催した「地活協学習会」でも度々お話しさせていただきましたのでご質問等ございましたらお気軽にご連絡ください。また、今回のようなシールを使った効果検証など、アンケートにつきましては中央区まちづくりセンターが発行された「効果検証マニュアル」が参考になりますのでご一読ください。

■啓発ふれあいフェスティバル（11月10日）

啓発地域で「啓発ふれあいフェスティバル」が開催されました。今回はむくのき学園5号館で開催されました。主な開催場所としては、グラウンドでは模擬店やゲーム、体育館で演奏や絵本の読み聞かせなどが行われました。

啓発地域の秋祭りといえば、令和3年度新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため各地域が祭りを中止する中、唯一開催できた祭りでした（地活協レポートバックナンバー

「令和3年12月号」を参照）。令和3年から今回まで事業を続けてきたのには以下のような要因があると思います。

一つは、「秋に開催すること」です。夏は連

日の猛暑で熱中症対策が必要になります（地域活動協議会の皆様に『地域の各種イベント開催状況アンケート』にご回答いただきました！」を参照。）が、秋に開催することでこれを回避することができました。

二つ目は「お昼に開催すること」です。今回午前11時から午後2時までの3時間の開催でした。夜間に開催しないことで片付けを次の日に回すこともありませんでした。

最後は、「学校と地域集会所等との連携」です。会場はむくのき学園5号館ですが、そこから徒歩1、2分にある啓発社会福祉会館はスタッフの休憩所になっており、開催中代わる代わる休憩できるようになっているのと、奥の厨房でカレーを作ることによってスタッフの昼食になるのももちろん、会場で販売することでもできました。学校と地域集会所等との連携については豊新地域の「朝の子ども食堂」などでも見ることができま

るので参考にしてください（地活協レポートバックナンバー「令和4年6月号」をご参照）。

